

# 県生協連 NEWS

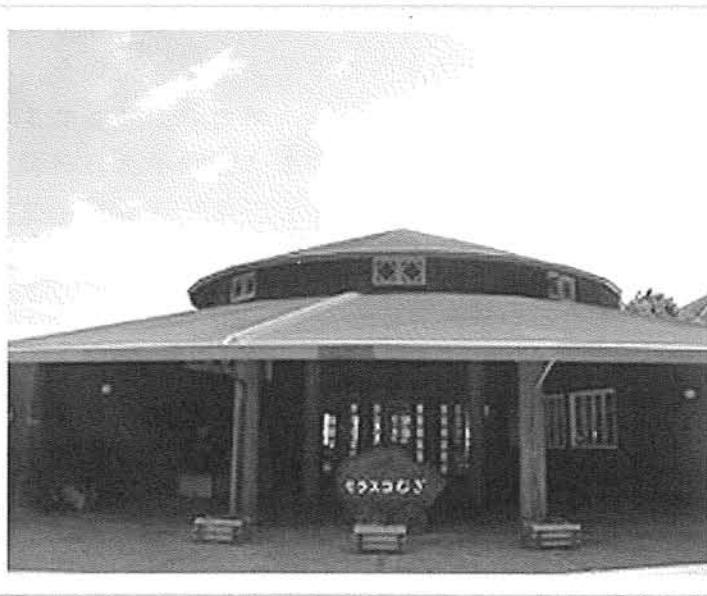
●発行：徳島県生活協同組合連合会

●発行日 2009年1月19日 (No.13)

●住所：徳島県板野郡北島町中村字東堤の内30-3

●電話・FAX：088-698-3910

●HP：<http://kenren.jccu.coop/tokushima/>



## 牟岐東漁業協同組合さんの活動紹介

- 「漁師さんの水族館」のあるモラスコむぎ（写真左）とクリスマス（右上）・お正月（右下）の時に飾り付けをした水槽です。

## 目次

表紙 牟岐東漁業協同組合さんの活動紹介写真

p 1 新年のごあいさつ（徳島県生活協同組合連合会：代表理事会長 阿部和代）

p 2 会員報告 生活協同組合コープ自然派徳島、生活協同組合とくしま生協

p 3 会員報告 徳島県学校生活協同組合、徳島健康生活協同組合

p 4 会員報告 徳島県職員生活協同組合、徳島大学生生活協同組合

p 5 会員報告 牟岐東漁業協同組合

p 6 徳島県生活協同組合連合会活動紹介 「みんなでエコだよ！ ファミリー運動会」

# 新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

さまざまな思いで迎える新年。とにもかくにも元気で新しい年を迎えることが出来たことを喜び合いたいと思います。

去年は、年明け早々に鳴門産わかめの偽装表示問題、冷凍ぎょうぎ事件が起こり、食の安全をたいせつに守り育ててきた生協にとっては、あまりにも衝撃的でくやしい年の始まりでした。その後、続いてうなぎの産地偽装や輸入の事故米の問題が次々と起こり、私たちの食の安全へのとりくみがあらためて問われた年になりました。食の安全安心にかかわる地域のさまざまな人々や団体と手を携えて、行政のとりくみの強化にもつなげられるよう努力していくことのたいせつさを実感させられました。



徳島県生活協同組合連合会  
代表理事会長 阿部和代

一方、くらしをめぐっては、米国発の金融危機が世界に広がって、日本でも内閣府のミニ経済白書によりますと「2007年の年末ごろまでに景気後退局面に入った可能性が高い」と指摘しています。とりわけ「2008年半ば以降になって輸出は急速な減少を示し、それが2008年秋以降の急速な生産の減少の要因となった」と述べています。自動車関係を中心に大企業の非正規労働者の解雇、雇い止めや学生の就職内定取り消しなど無法ともいえるひどい状況になっています。厚生労働省の調査でも3万人を超える人々が「非正規切り」になっているということです。こうした中、麻生首相は「百年に一度の危機」と言いながら、一方で2011年度の消費税増税を宣言し、2009年度予算の財務省案では在日米軍の再編経費としては600億円も増やすなど景気対策とは逆の方向に進もうとしています。

日本の生協運動は今から130年ほど前、社会経済の近代化の中で誕生し、人々のくらしに寄り添って広がってきました。去年は改正生協法が施行され、時代にふさわしい役割が求められています。今、百年に一度の危機と言われるなら、その中でしっかりと人々のくらしの質の向上のため100年に一度と言える役割を果たしていきたいものです。

徳島でも、商店街の日曜市の成功など新しい動きも生まれています。私たちもこうした地域のさまざまな組織や人々と協同の輪をひろげ、厳しい中ではありますが徳島のくらし造りの先に光をともしたいと思います。

本年もどうかよろしく願い申し上げます。

## 生活協同組合コープ自然派徳島

〒771-0135 徳島市川内町平石若松 204-6

TEL 088-665-8181 FAX 088-665-8182

Eメール [fureai@shizenha.co.jp](mailto:fureai@shizenha.co.jp)

ホームページ <http://www.shizenha.ne.jp>

●理事長 環 滋子 ●専務理事 岸 健二

●組合員数 10,037人 ●事業高 12.4億円

100年に一度の経済危機。歴史はくり返すと言いますが、1929年の世界大恐慌と同じように未曾有の経済危機を迎えています。とはいえ自動車産業や電機メーカーの大手16社だけで、過去最高の33兆円という内部留保を抱えているそうです。世界経済が縮小するなか、どこに投資されるあてもなく、行き場を失ったお金がたくさんあるということです。この機会に、あてもなく行き場を失っているお金を上手に活用して、農業や自然エネルギー、介護・福祉など、これらの分野にお金を注入するべきだと思います。その上で雇用の安定、格差是正、環境にやさしい経済への転換を図る。そのように考えれば経済危機は逆にチャンスだとも言えます。

農業や自然エネルギーにお金を注入するためには、農業保護のあり方、原発の是非など、国民的議論が必要だと思います。その意味では2009年は、エポックをなす一年になると思います。農業分野は、WTOドーハ・ラウンドが改めて再開されます。このままWTO農業交渉が進んでしまうと、日本農業は壊滅的打撃を被り、大崩壊することは間違いありません。欧米並みに農業保護のあり方を根本的に見直す必要があります。これらの議論は、総選挙とともに高まってくると思います。また、エネルギー分野では、六ヶ所村核燃料リサイクル施設の動向、フランスからのMOX燃料の輸送、愛媛県伊方原発などプルサーマル施設の稼働問題があります。どれも技術レベルで失敗に終われば（失敗の可能性が極めて高い）、これまでの原発を中心としたエネルギー政策も見直しの方向に進むと思います。またアメリカのオバマ大統領が掲げる自然再生エネルギーへの投資を柱としたグリーン・ニューディール政策の実現も少なからず影響があると思います。六ヶ所村核燃料リサイクル事業は、3度目の正直といわれた今年2月の操業についても延期となり、狼少年状態となっています。高レベル放射性廃棄物処理場も、一昨 year 高知県東洋町への誘致失敗のあと棚上げ状態になっています。国の威信をかけた原子力事業も大きな岐路を迎えています。

コープ自然派は、有機農業による農業振興、環境支払いなど農家への戸別所得補償など新たな農業保護政策を主張しています。また六ヶ所村核燃料リサイクルの本格操業に反対し、これまで脱原発運動を進めてきました。

100年に一度の経済危機のあと、新しい経済が誕生は、恐らくこれらの活動の延長線上にあると思います。

2009年は、これらの活動をもっと推し進めることで飛躍の年となるようにしたいと考えています。本年もよろしくお願いします。（専務理事 岸 健二）

## 生活協同組合とくしま生協

〒771-0289 板野郡北島町中村字東堤の内 30-3

TEL 088-698-0505 FAX 088-698-8872

Eメール [webmaster@tokushimaseikyou.or.jp](mailto:webmaster@tokushimaseikyou.or.jp)

ホームページ <http://www.tokushimaseikyou.or.jp>

●理事長 阿部 和代 ●専務理事

●組合員数 100,554人 ●事業高 106.1億円

新年明けましておめでとうございます。

政権が2年続けて突然変わるという、政治的な混乱の中で、消費者国民のくらしはますます厳しいものになっています。一昨年のサブプライムローン問題以降、経済環境は悪化の一途をたどっています。昨年10月には株価がバブル崩壊後の最安値を更新し、年越派遣村に象徴される非正規雇用労働者の解雇など、実体経済への影響は深刻です。生協組合員の消費動向も今後ますます低価格志向や買い控えが強まることが予想され、事業的には厳しい状況が想定されます。

そのような状況の中、昨年は1月の中国製冷凍餃子事件をはじめ、相次ぐ産地・商品偽装など消費者の信頼を揺るがす事件が多発しました。とくしま生協もコープ石井のシクロロポス問題では大変ご迷惑とご心配をおかけいたしました。食の安全と安心がますますクローズアップされる中で消費者の不安は大きくなる一方です。とくしま生協もその期待にこたえられるように奮闘していきたいと思っています。

さて、昨年店舗ではフードマイレージの取り組みを始めました。消費者・組合員に少しでも輸送途中のCO<sub>2</sub>の排出量の少ない商品を選んでもらうきっかけとなればと思っています。CO<sub>2</sub>の排出量の少ない商品は結果的に国産品であったり、地元の商品であったりします。そういう意味ではわずかでも自給率の向上や地産地消に貢献できるのではと思います。

地域社会に貢献できるように引き続き頑張っ参ります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

（常勤理事 細川 尚光）

## 徳島県学校生活協同組合

〒770-0874 徳島市南沖洲5丁目7-65

TEL 088-664-3225 FAX 088-664-4332

ホームページ <http://tokugaku.jp/>

●理事長 久保 修 ●常務理事 山下 敏光

●組合員数 8,447人 ●事業高 3.4億円

### 「年頭に思う」

アメリカのサブプライム問題に端を発した金融危機が世界大不況にまで進展してしまっただけでなく、今回の経済危機は1929年に始まった世界大恐慌に匹敵するといわれている。今回の危機は100年に一度の今まで経験したことがない大不況である。

今回の経済危機の特徴として次の4点があげられよう。①リーマン・ブラザーズの破綻から景気後退のテンポが想像を絶するほど急激である。②世界中が同時に不況になった。③全業種が不況になった。④不況と雇用の問題にタイムラグがなく同時に起きた。

本年(来年度)はこの不況は深刻さを増し、さらに厳しい状況になるであろう。今、サステナビリティ(持続可能性)、サバイバリティ(生き残る力)という言葉が頻りに使われている。組織でも、また個人としても存続の瀬戸際に追い込まれようとしていることを表わしている。存続をかけた戦いが今まさに始まっているのである。

生協も間違いなく否応無しにこの大きな渦の中に巻き込まれる。生協も企業も仕切りはないからである。存亡の危機に見舞われることもあるだろう。このピンチをどうして切り抜けていけばよいであろうか。本年そして来年度まさに正念場を迎える。

生き残れるか消えていくのか、その分かれ目は何であろうか。それは、ピンチをチャンスに転化する発想力とそれを行動に移していく実践力であろう。身を縮めて嵐が過ぎ去るのを待つというやり方は通用しない。急激かつ深刻な収益の減少に落ち込んだトヨタがガソリンを一滴も使わない太陽光で走行する電気自動車の開発・実用化を始めている。

これからのテーマが環境だと認識しているからである。

(理事長 久保 修)

## 徳島健康生活協同組合

〒770-8547 徳島市下助任町4丁目9

TEL 088-654-8363 FAX 088-625-0058

ホームページ <http://www2.tcn.ne.jp/~hcoopt/>

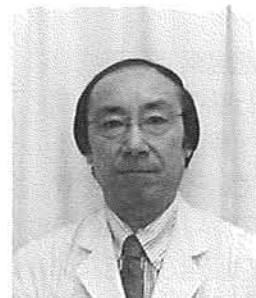
●理事長 岡島 文男 ●専務理事 久保田 滋

●組合員 39,773人 ●事業高 39.2億円

### 「組合員と県民のいのちと健康を守ろう！」

組合員の皆さん!  
あけましておめでとう  
ございます

昨年、「国保料を滞納したことで、役場から保険証を発行してもらえず、1月頃症状があって受診したかったが受けられなかった。痛みに耐えられなくなって



理事長 岡島 文男

7月の末頃何とか工面して保険料の一部を払い、引き換えに手にした短期保険証で受診したが、もはや手遅れの癌だと言われた」と言う内容の記事が毎日新聞に掲載されました。この報道は、弱者に冷たい日本の保健行政に対して怒りと悲しみを感じさせる徳島での事件でした。国保料が払えない人に保険証を出さない自治体がないよう監視を強め、全組合員のみなさんと一緒に社会保障の改悪をはね返しましょう。

産婦人科や小児科の救急・夜間診療への対応も全国的に問題となりました。徳島でも住民が公的な医療機関の存続を訴えたり、医療過疎地域で産婦人科医・小児科医などの確保を要望する集会が行われました。一方、私たちの取り組みでは、2007年に引き続き2008年も多くの仲間づくりや出資金増資に頑張っています。「300万人対話大運動」の取組みも進められ、この3月末までに2つの支部を作る準備が進められています。

私たちは2011年に健康生協創立50周年を迎えますが、その節目にふさわしく健生病院の新築移転もしくはリニューアルを視野に入れた元気のいい活動を展開する必要があります。地域の医療機関とさらに連携を強め、期待に応えられる医療機関を目指しましょう。医療を守り、経営を守るためには、政治を根本から変えることが必要です。いのちと暮らしを守るためには、平和を守らなければなりません。憲法9条・25条を守り、9条の会の取組みを強めましょう。

健康生協の自立再生のために心と力をあわせて、大きな転換の年にするよう頑張りましょう!

(理事長 岡島 文男)



## 徳島県職員生活協同組合

〒770-8570 徳島市万代町1丁目(県庁内)

TEL 088-621-3061 FAX 088-624-0170

●組合長 真木 和茂 ●専務理事 谷本 通

●組合員数 4,217人 ●事業高 4.5億円

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

徳島県では平成20年度から22年度にかけて「県債発行額の適切な抑制」と「聖域を設けない大幅な経費削減・見直し」を改革の方針として財政構造改革にとりかかっているところです。私たちの生協は県庁組織の職域生協であり、本質的に様々な制約等があり、必ずしも効率的な運営ができない側面があるのは否めないところですが、このたびの財政構造改革、特に義務的経費にまで踏み込んだ大幅な経費の削減等の実施に伴う影響と個人の消費マインドの冷え込みとが相まって、大変に厳しい経営状況になっております。このような状況下ではありますが、組合員の福利厚生への支援を基本におき、組合員の利便性の向上のため、可能な限り県や組合員の意見・要望などを取り入れながら組合員の立場に立った運営を心がけています。

私事ではありますが、昨年4月の辞令交付時に組合長である県企画総務部長から「御苦労を願うことになる」との言葉をいただいたときのその意味がここにきてようやく理解ができたところです。また、生協法の改正に伴う定款等の改正を通じて、短期間のうちに生協というものの概略が把握できたことも幸いでした。県職員在籍中は理事の一人として生協の運営に参加させていただいたことを除けば全くの未経験の業務でございますが、生協連の皆様の御支援等をいただきながら職責を全うしたいと考えています。

今年は県立中央病院の立て替えに伴う生協売店のあり方や職員の健康に配慮した食堂メニューの考案等が当面の課題となります。これからも組合員の福利厚生面の充実を図りつつ経営の安定化に努めて参りたいと考えております。

本年もどうかよろしく申し上げます。

(専務理事 谷本 通)

## 徳島大学生生活協同組合

〒770-0814 徳島市南常三島1丁目1

TEL 088-652-1073 FAX 088-626-5811

ホームページ

<http://ha1.seikyoku.ne.jp/home/tokushima-shop1/>

●理事長 佐野 壽昭 ●専務理事 清水 麻理子

●組合員 10,603人 ●事業高 13.3億円

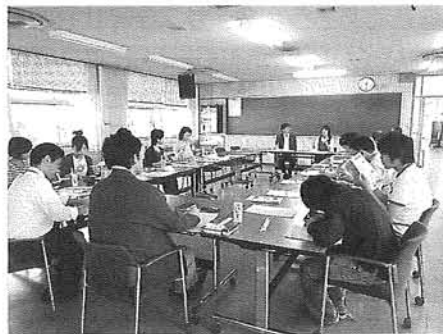
新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

昨年新しく取り組んだ組合員活動を紹介します。

教職員・大学院組合員対象

おしゃべりランチオンタイム

学生を中心とした組合員活動は、参加者も増え、活動の幅も広がってきましたが、教職員や大学院生の組合員活動は十分に行えていない状況が続いていました。そこで、まずは利用者の声をうかがうこと、生協の取り組みを知っていただくことを目的に、仕事の合間でも参加しやすい昼休みを利用したおしゃべり会を開催しました。短い時間でしたが、積極的な参加で、たくさんのご意見をいただき、非常に有益な会となりました。今後も継続し、組織活動の基盤としていきたいと思っております。



就職活動支援プロジェクト(TSP)

『あっ、就活しよ!』

就職活動(=就活)を終えた4年生が中心となり、自分たちの経験した就活を後輩に伝えようという取り組みを始めました。当日は、就活経験者3名のパネルディスカッションと、就活経験者を囲んで座談会を行いました。参加者からは、「先輩から生の体験やアドバイスをもらえて参考になった」という感想をいただきました。



(専務理事 清水麻理子)

## 牟岐東漁業協同組合

〒775-0012 海部郡牟岐町大字牟岐浦字宮の本 268-4

TEL 0884-72-1141 FAX 0884-72-1140

Eメール marugin@nmt.ne.jp

●組合長理事 井元 健二

●組合員数 194人 ●事業高 1.9億円

### 「変ということ」

アメリカ新大統領オバマ氏に代表される「変化」の呼び掛けは超大国アメリカだけでなく、日本にも少なからず影響を与えているように思います。政治経済教育文化等々の分野をひっくるめて「おかしい」「納得いかない」という光景が日常におこっているからです。なんとかできないものか・・・と変化を求める声徐々に広がっているのは当然と言えば当然かもしれません。

### 「何をどう変えるのか」

正月休みに、養老孟司著の「かけがえのないもの」をゆっくりと読ませてもらいました。ゆっくりと呼んだせいか変化にもいろいろな意味や、とらえかたがあることを教えられました。その一つが流れかと思います。川の水は上から下に流れます。人は生まれ老い死んでいきます。こうした流れは変えようと思っても変えようがありません。自然だからです。

しかし、私達は川の流れを変えようとします。死を避けようとします。時に自然は「むごい」キバをむくからです。でも変えきれないのです。これは何を意味するのか私にはわかりませんが、世の中にはこうした変えようにも変えきれないものが歴然としてあります。

他方私達一人一人の営みや意識によってつくりあげたもの「社会」と言ってもいいのですが、こうした分野の流れは変えようと思えば、気持ち次第で変えていけるのではないのでしょうか。今回おこった変化の本質は、したがって自分達の意志でつくった過去の流れを再検討しようとして立ちあがった大衆の挑戦だと私は見ております。イエス・ウィ・キャンの持つ説得力は、だから凄いのだと思います。

### 「かけがえのない協同道」

あと二年少して70歳になります。協同道に迷い込んで30年。いまだに苦しんでおります。少しばかりの本を読み話を聞き、その道を歩んできたつもりなのですが自信がないのです。

海は病み漁村に活気がありません。こうした現実打ちのめされて負けそうになってくるのです。

こんな私にもう一つ大事なことを教えてくれました「もし財産というものがあるとしたら、それはお墓に持っていけるものだ」と。お墓に持っていけるものという

のは自分の身についたものです。家もお金も持っていきません。それが、自分の財産だと言うのです。救われたように感じました。勇気づけられたように思います。

30年、悶々として得たもの、身につけたもの、うまく表現できませんが、あるような気がします。

かけがえのない自分だけが知っている協同道です。お墓に持っていく、お土産をやっとみつけたように思います。

(組合長 井元 健二)

# みんなでエコ!



# ファミリー運動会

地球温暖化防止に向けてのCO2 排出量の削減など、環境を守るとりくみは急務の課題となっている昨今。徳島県連として、身近に環境のことを考えていただく機会として、「みんなでエコ!ファミリー運動会」を開催します。

春の一日を、楽しくみんなで環境のことを考えながら運動しませんか?みなさんのご参加をお待ちしています。

☆開催日時 **2009年3月7日(土) 13:30~15:30**

☆開催場所 **徳島市B&G海洋センター体育館**  
住所：徳島市論田町中開47番地の2



当日、牛乳パック  
10枚を持参いた  
だいた方にトイ  
レットペーパー1  
ロールプレゼント!

☆募集人数 **150名(子どもさんだけの参加はご遠慮ください)**

※応募者多数の場合は、抽選となる場合  
がありますのでご了承ください。

参加費無料  
どなたでも自由に  
参加できます。

☆応募締切 **2009年2月20日(金)**

当日は、豪華?参加賞を用意。

当日プログラム ※受付 13:00~

- 開会式(13:30~)  
オープニング「バランス戦隊タベルンジャー(ミュージカルスクール:ウィズ)」
- 競技開始(13:55~)
  - ①「ペットボトル倒し」
  - ②「ペットボトル分別リレー」
  - ③「牛乳パック積み」
  - ④「環境O×クイズ」
  - ⑤「お玉リレー」
  - ⑥「アルミ缶積み」
  - ⑦「山越え・谷越え」
- 閉会式(15:25~)

※当日は、会場にて健康生協さんの健康チェックコーナーもあります。

※お茶など、お飲み物は各自ご用意ください。

☆連絡先：徳島県生活協同組合連合会 TEL088-698-0505

※下記の申込書は今回の行事以外には使いません。キャンセルされる場合は必ずご連絡ください。

----- 切 ----- リ ----- 取 ----- リ ----- 線 -----

## みんなでエコ!ファミリー運動会 参加申込書

氏名		年齢	才
氏名		年齢	才
氏名		年齢	才
電話	—	—	

